

# 終刊の辞

東洋女子短期大学学長  
原 田 規 梭 子

1950年、東洋女子短期大学英語科が本郷の地に誕生し、さらに1982年、千葉県流山に欧米文化学科が設立され、2002年には二科が併合され、英語コミュニケーション学科となり、本学は実に55年という長い年月にわたって優秀な卒業生を輩出してまいりましたが、最近の受験生に見られる四年制大学指向という時代の流れの中で、昨年、短期大学としての存続を断念し学生募集の停止のやむなきにいたりしました。

1966年、当時の学長 馬渡房先生の指揮のもと、『東洋女子短期大学紀要』第一号を創刊して以来、本学の紀要は、建学の精神「自彊不息」の標語のとおり、短期大学に奉職する先生方の個性的な研究成果を外へ発信する手段として、さらには本学の教育充実をもたらす発言の場として多くの業績をつんでまいりました。優秀な英語教育の場として本学を位置づけ、本学の教育実践のみならず、日本の教養教育に一石を投じた紀要であったと自負しております。いいかえれば、この紀要は東洋女子短期大学の顔であったのでした。

この度、第38号の刊行をもちまして、紀要の40年の歴史に幕をおろします。最後の紀要となる今回は、共学四年制の東洋学園大学に移られた先生方、そして兼任の先生方も寄稿してくださいました。これまで労作を掲載いただきましたすべての先生方、お読みいただき批評を寄せてくださった方々、紀要刊行に関わってくださったすべての方々に心から御礼を申し上げます。

どうも、ありがとうございました。